

まつしとしょかん がつごう
松支図書館だより 9月号

平成27年9月1日
 熊本県立松橋支援学校図書館発行

9月は「長月」ともよばれ、その由来は「夜長月」からともいわれています。夜が長く、星や月の鑑賞や読書にもよい季節になりました。学校の周りの田んぼでは稲穂が見え始めました。秋風に揺れて咲くコスモスに、残暑厳しいなかにも初秋の訪れを感じています。

2学期が始まります！一人一人がみのりの秋になるよう学習面やスポーツ面また、進路に向けて1日1日充実した日々であることを願っています。

貸出状況

	4月	5月	6月	7月	合計
H27年度	176冊	223冊	259冊	290冊	948冊
H26年度	165冊	325冊	235冊	336冊	1061冊

H27年度宇城地区生徒図書委員会合同研修会がありました！！

7月13日（月）に小川工業高校で宇城地区生徒図書委員会があり、各校の図書委員（本校：文化委員）が、活動発表を行いました。本校からも参加して他校の生徒の前で堂々と高校生らしく発表出来たことはとても良かったと思います。又、ブラックシアター鑑賞では、「耳なしほういち」の話に全員聞き入っていました。午後からの活動は班別活動で「本立て」とエコバック作りに分かれて、作品を作り上げました。作品は図書館に置いています。

☆☆☆☆新刊本紹介☆☆☆☆

【世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ】くさばよしみ編：中川学／絵
 未来を生きる子どもたちが、この絵本に出てくるような大統領のいる国でだれもが幸せに暮らせるといいなあと思わせてくれる絵本です。また私たち大人も読んで忘れかけている何かを思い出して欲しい一冊です。



【天皇の料理番】杉森久英／著

小さい時から強情でいたずらっこだった篤蔵は、福井の大庄屋の次男坊。高等小学校の時、ひよんなことから鯖江連隊の田辺軍曹からご馳走になった“カツレツ”の味に仰天。彼の運命が大きく変わることによって……。その後家出同然に東京に行き、西洋料理の世界に裸一貫で飛び込んでいく。明治生まれの若者が、日露戦争以降の東京で、激動の時代と共に力強く成長していく立身出世の物語。



☆☆☆ リレーエッセイNO42 ☆☆☆

「T先生と本の思い出」

「学校を卒業したら、本があなたの先生になります。」



これは、私に絵を教えてくださいました先生の言葉です。

小さい頃から絵を描くのが大好きだった私は、美術に関係する仕事に就くのが夢でした。中学生になり、楽しそうに授業をされる美術の先生の姿を見て、美術の先生になりたいと思うようになりました。「美術の先生になれば、毎日美術の授業ができる。楽しそう！」と思ったわけです。(本当は、先生の仕事はそれだけではありません・・・)

高校生になってもその夢は変わらず、私は先生になるための学校に入りました。その学校ではじめての言葉をかけてくださったT先生と出会いました。T先生は油絵を専門に教える先生でしたが、油絵以外のいろいろな分野に興味をお持ちで、美術に関する楽しいお話をたくさんしてくださいました。そして、教え子である私たちと、将来どんな先生になりたいか、生徒にどんなことを伝えてほしいかについて一緒に話をしてくださいました。たくさん叱られもしましたが、今でも学生時代を振り返ると先生や友人との楽しい思い出がいっぱいです。

そのT先生ですが、私が卒業する前に違う学校へ転勤することになってしまいました。分からないことは聞いてばかりで、甘えていた私は、お別れ会のときに思わず言ってしまいました。「先生がいなくなったら、私は誰に教わればいいのか分かりません。」と。すると先生ははじめの言葉をかけてくださったのです。「学校を卒業したら、本があなたの先生になります。」と。

本には、大昔から人が積み上げてきた知恵がたくさん詰まっています。一人の人間が覚えられない情報にも、技術にも限りがありますが、記録に残すことでそれを分かち合うことができます。

実際は社会に出ても、自分の先生になってくれる存在はたくさんいます。先輩や同僚、友人、時には生徒の皆さんに教わることもあります。そして、そこに本が加われば、人はいつまでも成長していけるのではないのでしょうか。

なんだか偉そうなことを書いてしまいましたが、私も分からないことだらけの未熟者です。みなさんと一緒に本を読みながら成長していきたいと思えます。

